



## ギリシアRGCCがん遺伝子検査ラボ ニュースレター

【頭頸部の扁平上皮癌でのCTCsの評価は、予後因子としての価値があります。】

Sci Rep. 2016 Feb

### Diagnostic and Prognostic Value of Circulating Tumor Cells in Head and Neck Squamous Cell Carcinoma: a systematic review and meta-analysis.

(頭頸部扁平上皮癌での循環腫瘍細胞の診断的価値と予後的価値。系統的レビューとメタ分析)

Wu XL, Tu Q, Faure G, Gallet P, Kohler C, BittencourtMde C.

#### 論文要旨

頭頸部扁平上皮癌(HNSCC)の患者で、循環腫瘍細胞(CTC)を検出する為のいくつかの技術が開発されたが、CTCの診断と予後予測の価値は、いまだ完全には確立されていない。2014年12月に、コンピューター化された文献検索システムが、電子データベースを用いて、時間制限なく運用されるようになった。診断精度変数がMeta-DiScソフトウェアによって統合されて分析された。統合された生存分析に、Engauge DigitizerとStataソフトウェアを使用した。検索された22の研究が、系統レビューに適しており、その内9が診断試験メタ分析に、5つが予後分析に適合された。サブグループ分析では、正の選択戦略を用いた統合感度と統合特異度の検出で、統合感度が24.6%そして統合特異度が100%を示した、しかも不均質さは低下していることが示されている。CTCの存在は、無病生存率(DFS、HR 4.62、95% CI 2.51-8.52)の短縮と有意に関係していた。結論として、HNSCCにおいて、CTC検出分析が非常に特異的であるが、感度が低いことが現在のエビデンスとして挙げられる。また、CTCの存在がDFSの悪化も示唆している。

各位

R.G.C.C. 社ニュースレターのアブストラクトの訳を配信致しました。  
原文をご希望の際はお申し付けください。

会員向けの無料配信がございます。

<https://www.rgcc-group.com/index.php?page=newsletter>

にてお名前とEmailアドレスを入力の上、ぜひご登録をお願い致します。

ここに登録頂きますと、以下の情報が配信されます。

- ・ R.G.C.C.社ラボとコンタクトを持つ世界中の医師からの質問とそれへの返答内容。
- ・ 世界中のがんの専門医から寄せられる論文、治療の手法、意見、アイデア、CTCにかかわる世界の学会情報などの共有。
- ・ R.G.C.C.社ラボにおけるCTC、CSC、天然成分由来の抗がん治療製剤開発などにかかわる最新情報の配信。
- ・ CTC、CSCに基づき治療された患者群のフォローアップ統計の推進(これは再検査の際に提出される患者フォローアップシートへの記入がもととなりますので、ぜひご協力のほどお願い申し上げます)。

以上ですがぜひ、このサークルを広め役に立つ情報の共有を推進したくご検討のほどよろしくお願ひ申し上げます。

株式会社デトックス